

伊勢原市総合運動公園 再生修復整備方針(案)

平成 30 年 4 月 20 日

伊勢原市総合運動公園再生修復方針検討委員会

伊勢原市総合運動公園再生修復整備方針（案）

目次

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| 1 | はじめに | |
| 1-1 | 総合運動公園再生修復整備方針策定の目的 | 1 |
| 1-2 | 計画地の位置及び面積 | 1 |
| 1-3 | 伊勢原総合運動公園の沿革 | 2 |
| 2 | 総合運動公園の概況 | |
| 2-1 | 総合運動公園の概況 | 3 |
| | （1）施設概要 | 3 |
| | （2）利用状況 | 7 |
| | （3）駐車場の利用状況 | 8 |
| | （4）地形構成 | 8 |
| | （5）花木・景観 | 9 |
| | （6）歴史文化 | 10 |
| | （7）総合運動公園の概況からの課題のまとめ | 11 |
| 3 | 上位計画・市民ニーズの把握 | |
| 3-1 | 伊勢原市のまちづくりの方向 | 12 |
| | （1）第5次総合計画後期基本計画 | 12 |
| | （2）都市マスタープラン | 13 |
| | （3）緑の基本計画 | 14 |
| | （4）市民生涯スポーツ推進基本計画 | 16 |
| | （5）地域防災計画 | 16 |
| 3-2 | 市民ニーズの把握 | 17 |
| | （1）総合運動公園再生へのアンケート | 17 |
| | （2）伊勢原市遊具に関するアンケート調査 | 18 |
| | （2）市民の体力・スポーツに関する調査 | 19 |
| 3-3 | 上位計画・市民ニーズのまとめ | 21 |
| 4 | 計画内容の検討及び設定 | |
| 4-1 | 計画方針の検討 | 23 |
| | （1）再生修復に向けての整備方針 | 23 |
| | （2）再生修復整備の考え方 | 24 |
| 4-2 | 再生修復計画 | 26 |
| | （1）中央広場 | 26 |
| | （2）自由広場 | 26 |

| | |
|----------------|----|
| (3) 子どもの広場 | 27 |
| (4) 展望広場と法面部階段 | 31 |
| (5) 回遊性の向上 | 32 |
| (6) 環境学習の場の充実 | 34 |
| (7) 周辺散策ルートの充実 | 34 |
| (8) 花木修景の展開 | 35 |
| (9) 駐車場の構成 | 36 |

5 事業計画

| | |
|--------------|----|
| 5-1 事業スケジュール | 37 |
|--------------|----|

参考資料

| | |
|-------------------------------|----|
| (1) 伊勢原市総合運動公園再生修復検討委員会の経過 | 38 |
| (2) 伊勢原市総合運動公園再生修復検討委員会委員 | 38 |
| (3) 伊勢原市総合運動公園再生修復検討委員会委員設置要綱 | 39 |

1. はじめに

1-1 総合運動公園再生修復整備方針策定の目的

伊勢原市総合運動公園は、昭和 63 年に供用開始して以来 28 年が経過し、施設の経年劣化等が指摘されています。さらには人口減少・少子高齢化・市民ニーズの多様化などにより、公園の役割も変化している。

こうした中、本市の基幹的な競技スポーツ機能を保持しつつ、子供から大人まで多くの市民が集い、楽しめる魅力的な公園づくりを進めるため、立地条件等を踏まえた施設の修復、再整備に向けた課題や条件を整理し、総合運動公園再生修復に係る基本的な方針、配置計画などを検討することを目的とする。

1-2 計画地の位置及び面積

伊勢原市総合運動公園は、伊勢原駅より北に約 2.5 km に位置する面積 15.4ha の運動公園（昭和 63 年 8 月 1 日供用開始）である。

検討範囲は、伊勢原市総合運動公園全体、自由広場、芝生広場、中央広場、展望広場、調整池を含む周辺部約 15.4 ha を対象とする。

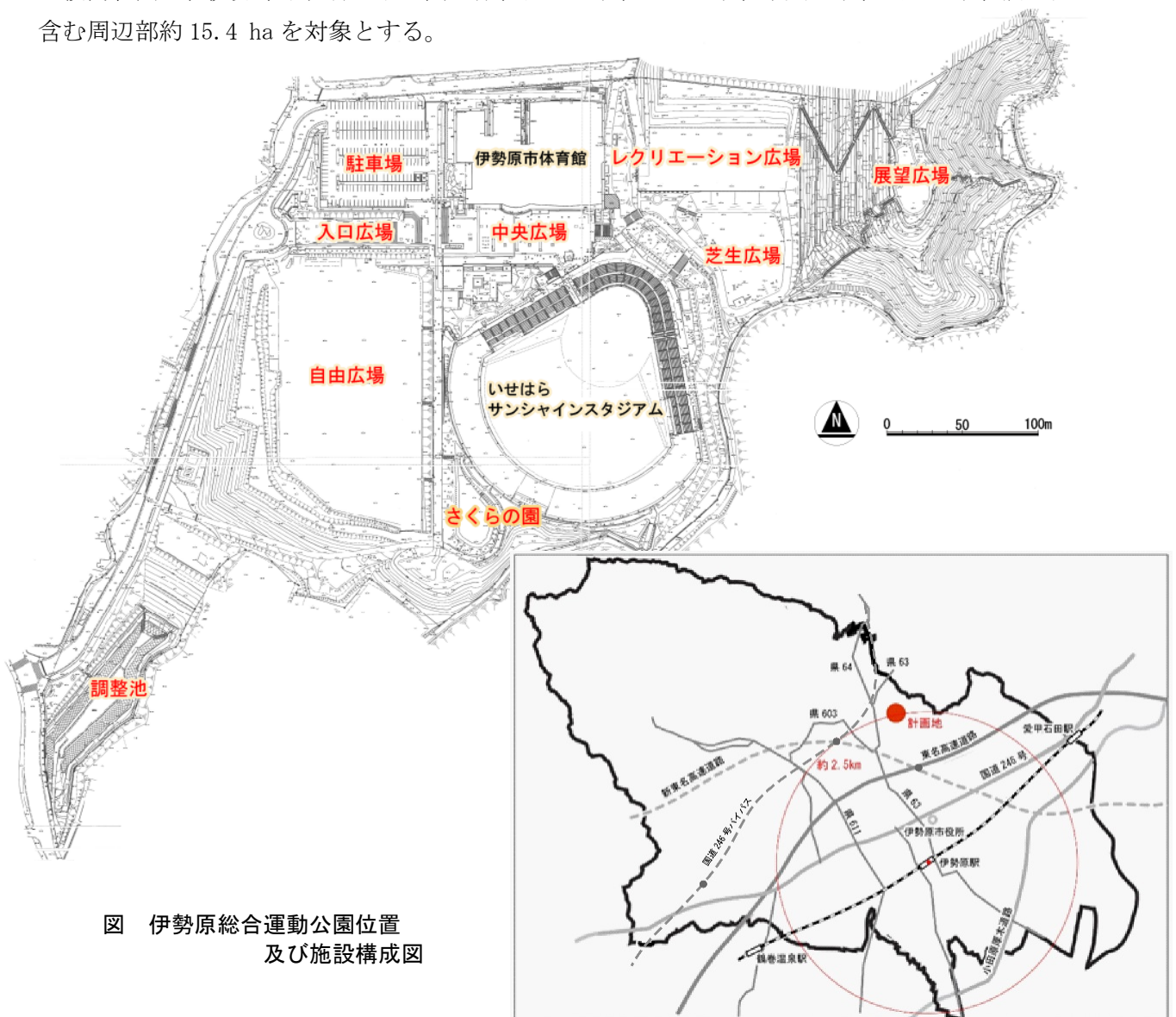


図 伊勢原総合運動公園位置
及び施設構成図

1-3 伊勢原総合運動公園の沿革

伊勢原市総合運動公園は、伊勢原市総合計画（昭和 48 年 10 月）による土地利用構想において、スポーツ・レクリエーションエリアの設定が方向づけられた。

さらに昭和 54 年伊勢原市諸計画策定基礎調査において、市民の整備希望施設の第一に「公園・スポーツ・レクリエーション」があることから、本公園を『緑のマスタープラン』で総合運動公園として位置づけ、都市計画事業として整備することとなった。

- 種 別 : 運動公園 15.4 ha
- 都市計画決定告示 : 昭和 57 年 8 月 3 日（1982 年）
- 設 置 : 昭和 63 年 8 月 1 日（1988 年）
- 供用開始 : 昭和 63 年 8 月 1 日（1988 年）

2. 総合運動公園の概況

2-1 総合運動公園の概況

(1) 施設概要

① 周辺土地利用

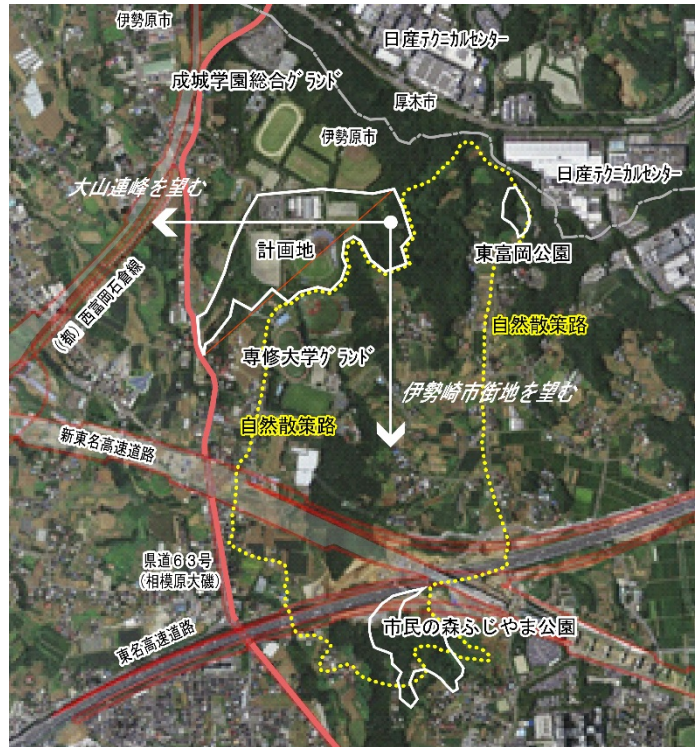
計画地は、西に大山、南に伊勢原市街地を望む、眺望豊かな立地にある。

北側に成城学園総合グラウンド、南側に専修大学グラウンドが立地する。

また、東側に立地する雑木林は、南北に東富岡公園、「市民の森ふじやま公園」に連担し、自然散策路で接続している。

(自然散策路全長約6.5 km、1周約3時間)

さらに、計画地に近接して新東名高速道路の(仮称)伊勢原北インターチェンジの建設が進められており、アクセスする都市計画道路西富岡石倉線により接続される。



② 施設概要

総合運動公園に立地する主な施設の概要と現状を整理する。

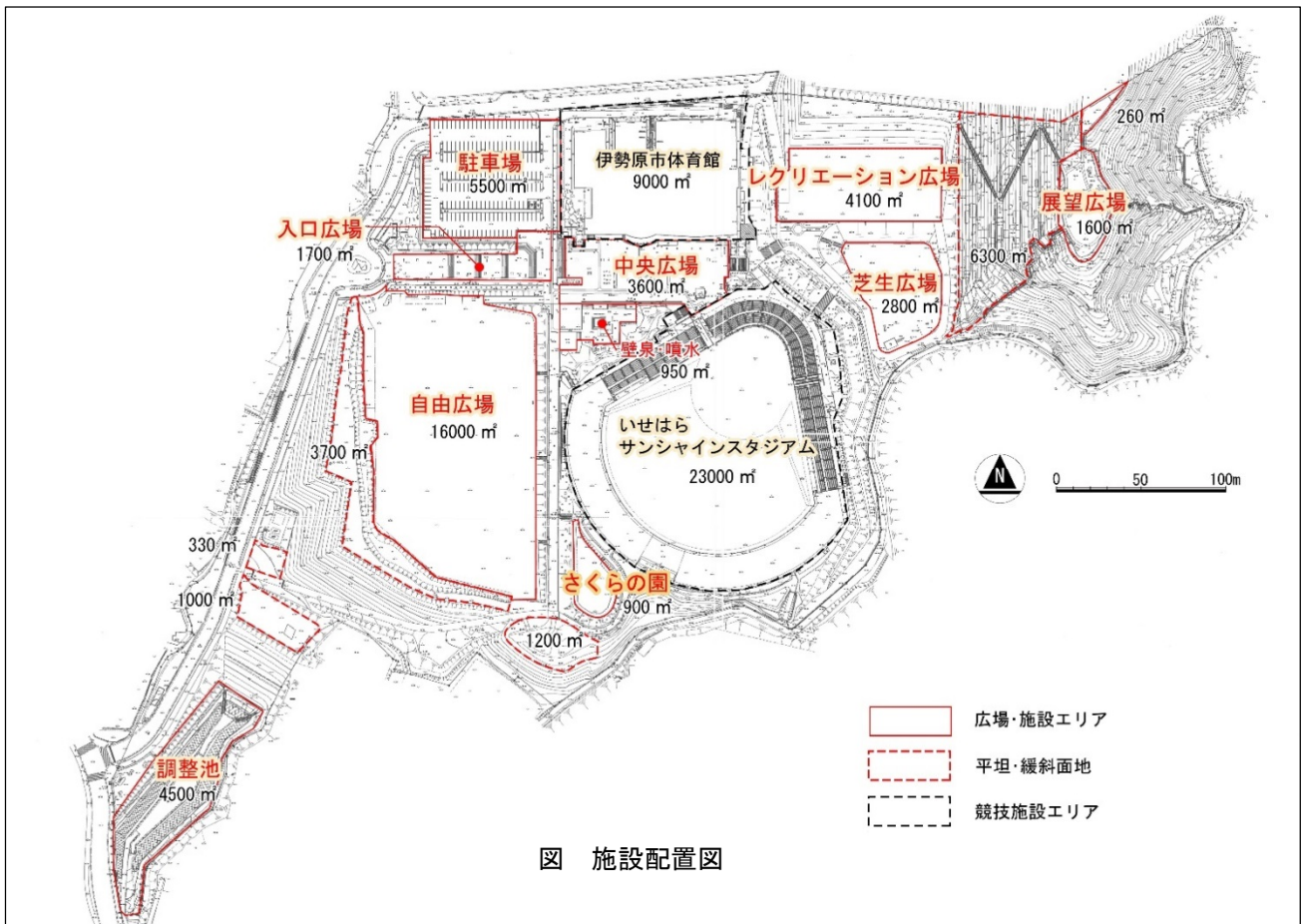


図 施設配置図

| | |
|---|--|
| <p>伊勢原市総合体育館</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市の中心的な体育館でスポーツ各種の大会やイベント会場として利用されている。また、各種トレーニングマシンを備えた市民の健康づくりの場として利用されている。 ○メインアリーナ : 2,100 m² ○サブアリーナ : 527 m² ○武道場（柔・剣道場）: 486 m² ○トレーニング室 : 168 m² （ラジックマシン、自転車、ウェイトリフター等） |
| <p>いせはらサンシャインスタジアム</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市唯一の観客席を備えた硬式対応野球場。高校野球予選会等、県レベルの大会で利用されている。 ○グラウンド両翼 95メートル、センター120メートル 内野…クレイ舗装、外野…天然芝舗装 ○観客席・収容人数 15,000人（内野5,000人、外野10,000人） ○その他：本部席、スコアボード、ナイター照明等 |
| <p>入口広場</p> | |
|  <p>広場西側端 広場東側（中央広場隣接部） 広場東側より西側を望む 南側スロープ部藤棚</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・公園東側バス停部より駐車場に接続するまでの約100mの舗装空間。 ・ケヤキ並木と石垣が続く、重厚なメインストリートで約1mの段差で5段の広場で構成される。 ・広場南側にはスロープが設置され、上部に藤棚が続き、公園を代表する花木の景観を形成する。 | |
| <p>中央広場</p> | |
|  <p>中央広場（総合体育館前） 中央広場 壁泉・噴水（現在使用停止）</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・入口広場から続く舗装空間。ケヤキ並木が広場を特徴づけ、また大きな緑陰を形成している。 ・本公園の主要施設である総合体育館とサンシャインスタジアムの接続広場となることから多くの利用者が滞留する。このためイベント時に模擬店等で利用されている。 | |
| <p>自由広場</p> | |
| <p>※西方に大山連邦を望む 約15,000 m²、 ダスト舗装。</p> |  <p>広場南側より西方を望む 広場北側より製法を望む</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ、サッカー、野球場利用のアップの場として利用されている。（利用内容により全面利用、1/2利用）。 ・予約がない場合、一般に貸し出している（無料）。 ・土日はほぼ、満杯の状況である。 ・イベント時は臨時駐車場として利用（約500台収容）。野球場や体育館での大会利用の際は、同時に自由広場の予約を要請し、臨時駐車場を必ず確保している。 | |

| | |
|--|--|
| <p>さくらの園</p>  <p>さくらの園内芝生園地 さくらの園東側がけ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 自由広場南側の小高い小広場。 サクラに囲まれた落ち着いた芝生空間。 サクラ開花時にはライトアップされる。 <p>※自由広場と高低差(約3.5m)あり、野球場の裏側となるため、普段の利用は少ない。</p> |
| <p>レクリエーション広場</p>  <p>広場より北側斜面(クロマツ植栽)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 約3600㎡、ダスト舗装。 現在は駐車場として活用している。(普通車123台、大型5台収容) 遊具のある芝生広場に隣接することから幼稚園バスや親子連れはこの広場を駐車場としている。 大会及び大会以外でもチーム移動にバスを利用する場合は大型車を駐車させている。 |
| <p>芝生広場</p>  <p>芝生広場と複合遊具 南側砂場・滑り台</p> | <ul style="list-style-type: none"> 平坦な芝生広場。 複合遊具(2017年3月設置)と滑り台、砂場等が設置されている。 <p>※子供を中心に親やおじいちゃんおばあちゃんと一緒の利用者が増加している。</p> |
| <p>展望広場</p>  <p>西側大山連峰を望む 南側伊勢原市街地を望む 展望広場 芝生広場より展望広場を望む</p> <ul style="list-style-type: none"> 本公園の最高標高で、2段(標高130.3、135.2)の芝生空間で構成され、ソメイヨシノやヤエザクラ、ケヤキ等が単木で植栽されている。 広場より西方に大山を望み、南側は伊勢原市街が展望でき、天気が良く、空気が澄んでいる日には遠く江ノ島まで見ることができる。 隣接するレクリエーション広場とは約30mの高低差となる。 展望広場西側は、造成法面(1:2斜面)にイロハモミジやドウダンツツジ等紅葉木が多く植栽されている。その他は自然地形の斜面にクヌギ、コナラ等落葉広葉樹の樹林が広がる。 東側樹林外周部に自然散策路が通り、東富岡公園へ連絡している。 | |
| <p>サクラ並木</p>  <p>桜並木と歩道</p> <ul style="list-style-type: none"> 約400mつづく、サクラ並木は本公園の代表する花修景で、桜フェスタ時はルート沿いに提灯での夜桜を楽しめる。 桜植栽沿いの斜面には梅やイチョウも上段に植栽されている。 桜開花期以外でも紅葉時や夏の緑陰等、表情豊かな並木景観を形成している。 | |

イチョウ並木



イチョウ並木



黄葉時の様子



※並木前方に大山を望む

- 約 200m 続くイチョウ並木は紅葉時には黄色いじゅうたんが広がる。自由広場からは並木前方に大山を望む特徴的な景観を形成する。
- イチョウは黄葉と共に銀杏拾いも楽しめる。
- 公園の裏側にあたるため、利用者が気付くことが少なく、隠れた人気スポットとなっている。

調整池



調整池下流(南側)



調整池中央部



調整池上流(北側)



トンボの飛来

- 公園の最下段に立地する調整池。常時水面部への階段（擬木階段）や護岸処理に自然石を用い、景観に配慮した整備が行われている。
- 常時水面を有することから、コイが生息し、トンボ等の昆虫も多い。

駐車場

ソノ ルツリ-(マダコイヤ)



- 普通車 177 台
- 平日は満足しているが、大会利用、イベント時は極端に不足し、自由広場を駐車場として活用している。（約 500 台）

自然散策路



芝生広場南側



標識



展望広場東側



炭焼き小屋(展望広場東側)

- 本公園から北側に東富岡公園、南側に市民の森ふじやま公園を結んでいる。
- 公園北側、展望広場の東側樹林沿いのルートには、炭焼き小屋が立地する。また周囲の樹林地は NPO いせはら森の会により『みんなの森づくり事業』として花木の植栽やヤマユリ・カタクリ等下草の育成管理が行われている。

(2) 利用状況

①施設利用

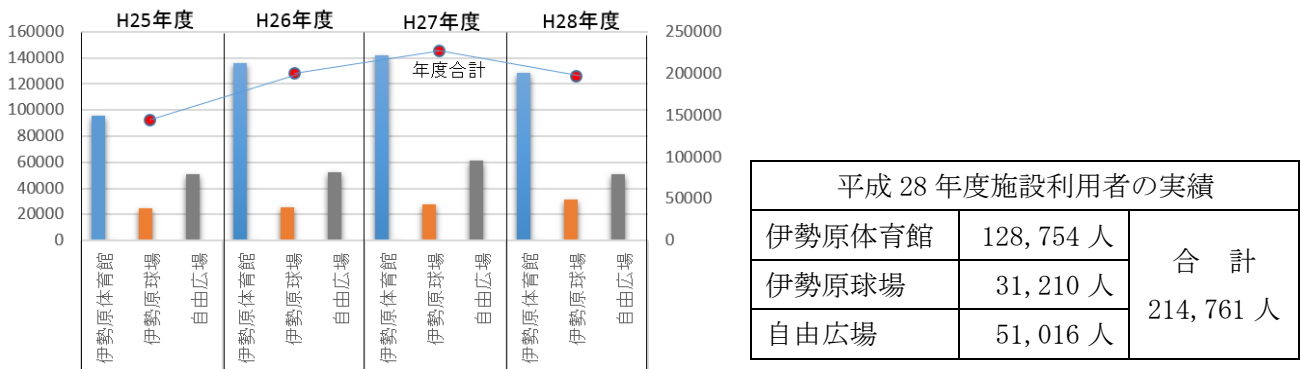
総合運動公園としての公園利用者数の計測は行われていないが、施設利用に対し利用者登録を実施する「伊勢原体育館、伊勢原球場、自由広場」については、利用人数が計測されている。

伊勢原体育館、伊勢原球場は、市のスポーツの拠点として多くのスポーツ大会が開催されるほか、市民の交流イベントが実施されている。また、これら大会時には自由広場は駐車場として活用されている。

平成 28 年度の実績では、伊勢原体育館で約 13 万人、伊勢原球場で約 3 万人、自由広場で約 5 万人となり、施設利用だけで約 21 万人が来園している。

近年の利用実績を見ても概ね全体で 21 万人から 23 万人の来園がみられる。

(※平成 25 年度は 11 月から 3 月まで大体育室天井工事、平成 28 年度は床面工事で利用不可となり利用者減となっている)



②公園全体を利用する主なイベント

総合運動公園は、スポーツの大会の他、次のように多数の来場者を見込めるイベントが開催され、使用されている。

| ■公園全体を活用する主要イベント | |
|---------------------------------|--|
| イベント名 | 概要 |
| 桜フェア 平成 29 年は 3/31~4/2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップには 2,700 人来園 ・期間中の土日を中心に飲食ブースや子供向けイベント、オーガニックマーケット開催。 |
| いせはら芸術花火大会 平成 29 年は 4 月 15 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・約 20,000 人が来園。 ・花火はレクリエーション広場より打上げ、観客席は自由広場。 ・当日は日産テクニカルセンターを駐車場とし総合運動公園までをバスでピストン輸送。 |
| 公園緑花まつり 平成 29 年は 5 月 14.15 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・約 25,000 人が来園 ・当日は模擬店の他、そば打ち体験やダンスの発表、フリーマーケット等各種イベント実施。 |
| ふれあいマーケット 平成 29 年は 9 月 10 日 | <ul style="list-style-type: none"> ・約 5,000 人が来場 ・フリーマーケット、オーガニックマーケットの他、各種イベント実施。 |
| ■その他定例イベント | |
| 中央広場 | ：ふるさと伊勢原おやこ写生会、伊勢原文化祭菊花展 |

(3) 駐車場の利用状況

駐車場は日常的な利用では、現況駐車場で対応しているが、スポーツ大会や交流イベント開催時は、大きく不足する。

指定管理者は、体育館や野球場で実施するスポーツ大会の予約の際、必ず自由広場を臨時駐車場として確保するよう主催者に指導している。

また、交流イベントの際は隣接する成城学園や日産テクニカルセンターに駐車場の確保を依頼している。(それでも駐車場の不足から県道 63 号線に渋滞をおこしている)

| | 日常的な利用 (土日を含む) | スポーツ大会時 | 代表的な交流イベント | |
|------------|---------------------------------------|------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| | | 高校野球予選や高体連(バレー、バスケ)の大会 | ふれあいマーケット等 | いせはら芸術花火大会 |
| 駐車場 | 普通車 177 台 | 普通車 177 台 | 普通車 177 台 | — |
| 自由広場 | — | 普通車 500 台 | 普通車 500 台 | — |
| レクリエーション広場 | — | 普通車 123 台 大型車 5 台 | 普通車 123 台 大型車 5 台 | — |
| その他 | — | — | 成城学園内に普通車 100 台 | 日産テクニカルセンターに駐車場確保 |
| 駐車場体制 | 普通車 177 台 | 普通車 800 台 | 普通車 900 台 | — |
| | レクリエーション広場は、芝生広場等公園上部利用のため常に 20 台程度停車 | | イベントにより、レクリエーション広場をイベント会場とする場合もある。 | 全て日産テクニカルセンターよりピストン輸送。公園内は関係者のみ |

(指定管理者へのヒアリングより)

(4) 地形構成

計画地は丘陵部に階段状に造成されて施設が配置されている。このため、敷地の大半が造成地となり、自然地形は展望広場の東側斜面地と野球場南側斜面地に一部残される。

計画地の高低差は、入口部の県道 63 号(相模原大磯線) 57.4m から、展望広場の 135.0m まで、約 77.6m に及び、この高低差が本公園を特徴付ける魅力のひとつとなっている。

特に子どもの利用の多い、芝生広場(103.0m)は、中央広場(90.3m)と約 13m の高低差を生じている。

造成法面は 1:2 の勾配を基本とし、一部、芝生広場(1:5)、レクリエーション広場北側法面(1:4)、調整池北側法面(1:3)の緩勾配での整備が見られている。

また自然地形の斜面地はいずれも 40% 以上の急斜面となり、クヌギ、コナラ等の落葉広葉樹が分布している。



図 造成高さ図

(5) 花木・景観

計画地は大半が造成地で自然植生が分布するのは、東側丘陵部に限られる。
丘陵部の植生はクヌギ・コナラ群集に属する。

クヌギ・コナラ群集

高木層 : コナラ、クヌギ、イヌシデ、ミズキ、アラカシ等
亜高木層、低木層 : エゴノキ、エノキ、シラカシ、モチノキ、アオキ等
草本層 : アズマネザサ等

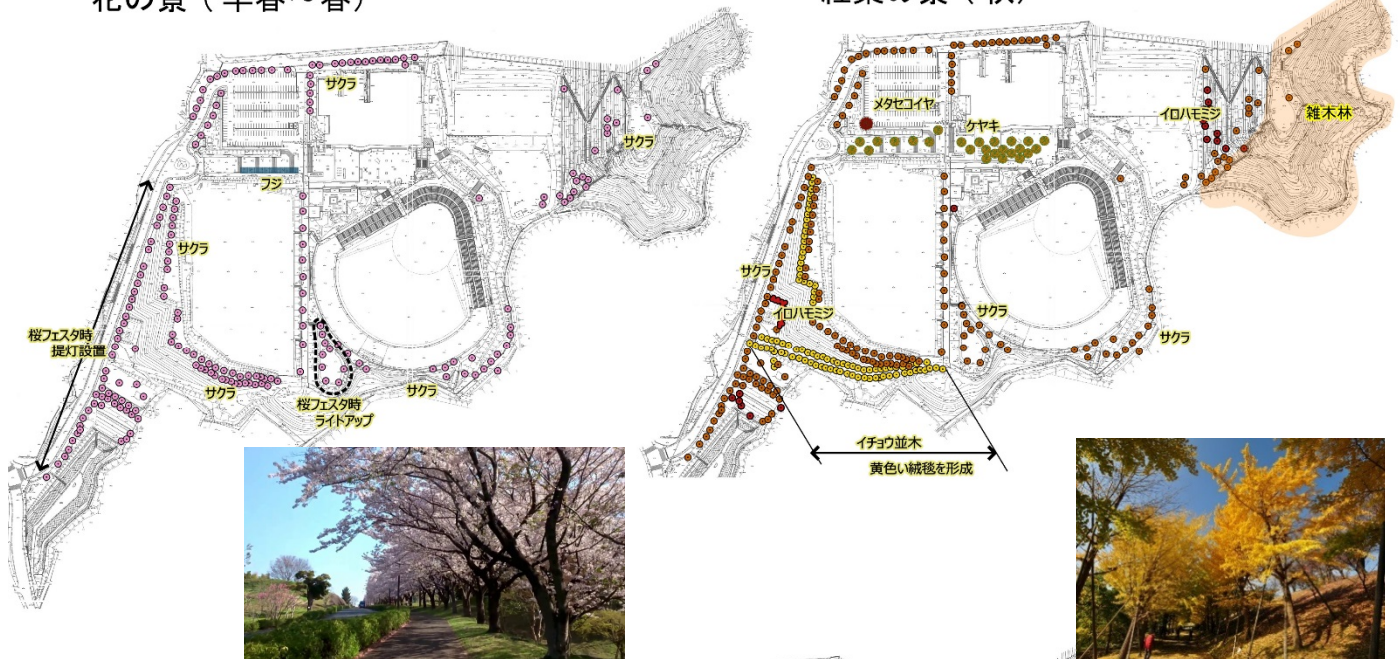
その他は運動公園建設に際して植栽された緑化樹が主体となる。

植栽の中で特に修景的に特徴をなす花木資源、景観資源について位置と内容を示す。

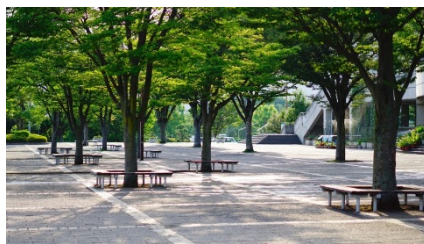
i. 花木・景観資源

花の景（早春～春）

紅葉の景（秋）



景観資源（シンボル植栽）



(6) 歴史文化

計画地周辺では、これら歴史文化にかかわる文化財等が立地し、市のウォーキングガイドにおいて本公園を起点としたモデルコースが設定されている。

- 〔市指定文化財〕
 さねまきはらこせんじょう
 ● 実時原古戦場(図中 NO58)
 文明 18 年大田道灌の暗殺後、扇谷上杉氏と山内上杉氏の間で争いが始まり、長享の乱(調教の乱)が勃発し、戦乱は北関東からこの地まで及んだ。
 ● 上杉館跡(図中 NO45)
 文明 18 年大田道灌はこの地にあった上杉氏の「府第(ふてい)」に招かれ、暗殺された。
 ● 大田道灌の墓(図中 NO52)
 上粕屋にある曹洞宗、幡龍山(ばんりゅうざん)洞昌院の境内の一角にある。本寺は 15 世紀の武将、大田道灌が中興開基となる。
- 〔国登録文化財〕
 ● 小澤家住宅(主屋、表門、庭塀)(図中 NO15)
 ● 山口家住宅(主屋、離れ)(図中 NO16)

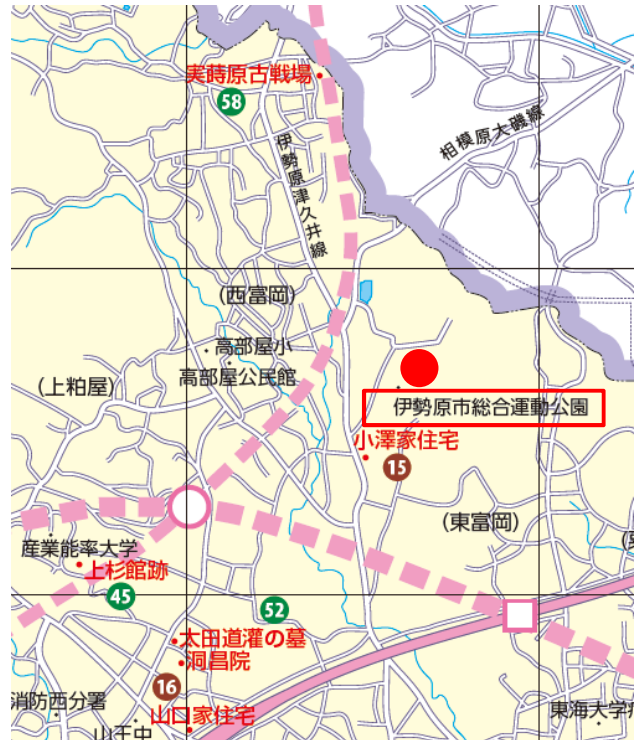


図 計画地周辺指定・文化財分布
 「伊勢原市指定・登録文化財マップより抜粋」

ウォーキングガイドは、市民の健康づくりを目的に、ウォーキングを通して市の史跡、名所を歩きながら楽しめる情報を盛り込んだ 15 のモデルコースを選定している。

「見どころ満載!!文化財巡り」 コース

伊勢原市総合運動公園を起終点とする全長 7.2 km
 (100 分、11,000 歩)
 五霊神社、雨岳文庫、大田道灌の墓などを巡るコースである。



図 ウォーキングガイド

(7) 総合運動公園の概況からの課題のまとめ

○伊勢原ならではの眺望、施設の立地特性を生かした整備が求められる。

- ・大山を正面に望む斜面地に各施設が壇上に整備され、高低差はあるものの景観に優れた立地にある。展望広場からは、西に大山をはじめとする丹沢山系、南に相模湾、伊勢原市街地が展望でき、この景観を生かした整備が求められる。
- ・また、計画地東側に立地する雑木林は、まとまりのある樹林地を形成し、東富岡公園、市民の森ふじやま公園に自然散策路で連続している。こうした自然環境や歴史・文化資源を生かすとともに、周辺環境や地域資源とのネットワークを形成することが求められる。
- ・さらには、開園以来、大切に育まれてきたサクラ並木やイチヨウ並木、ケヤキ並木など、四季を通じて楽しむことができる花木を生かすとともに、スポーツや遊びの情報発信拠点として、子どもから大人まで多くの市民が集い、楽しめる魅力的な公園づくりが求められる。

○現状施設の主な課題点

《中央広場》

- ・公園の象徴となる壁泉・噴水が破損し使用中止となっている。
- ・植物販売コーナー等、計画的な配置でないため、景観的に課題となっている。

《自由広場》

- ・多目的な利用を意図するものの、現状では臨時駐車場としての利用が多く、その際は利用を全面中止している。このため、臨時駐車場としての機能を保持しつつ、スポーツ施設としての有効活用が求められる。
- ・現況舗装面は、表層が摩耗し岩盤等が一部露出し、スポーツ利用に課題を生じている。

《レクリエーション広場》

- ・実態として駐車場で対応できない大型車両の駐車スペースや芝生広場利用のための駐車場となっている。また、イベント時にも臨時駐車場として利用される。
- ・現況舗装面は、不陸も多く碎石で補修されており、利用実態と名称が合致していない。

《芝生広場》

- ・自由に遊べる唯一の空間。遊び空間としての多様性（年齢層、魅力要素）や付添者等の休憩施設が求められる。

《展望広場》

- ・現況の階段、手すりに老朽化が目立ち、展望広場への円滑なアプローチ整備や眺望を生かした整備が求められる。

《サクラ並木、イチヨウ並木、桜の園》

- ・これまで育まれてきた特徴的で、計画地を代表する景観資源である。
- ・日常の利用が少なく、魅力を十分に生かしていない。

《調整池》

- ・公園施設の排水の流出調整機能であるが、コイやトンボなどの生息が見られる。
- ・公園利用を前提とした施設ではない。

《駐車場》

- ・日常的な利用では、現況の駐車場で対応しているが、大会やイベント時には大きく不足し、レクリエーション広場と自由広場を臨時駐車場として利用している。また大型車両の駐車スペースが確保されていない。
- ・日常的な利用では、各施設に近接した駐車場が求められる。

《自然散策路》

- ・東富岡公園、市民の森ふじやま公園との連続性に留意するとともに、自然との触れ合いの場として積極的な活用が求められる。